

# 2020年3月期 第3四半期 決算説明資料

---

2020年2月7日

日本製紙株式会社



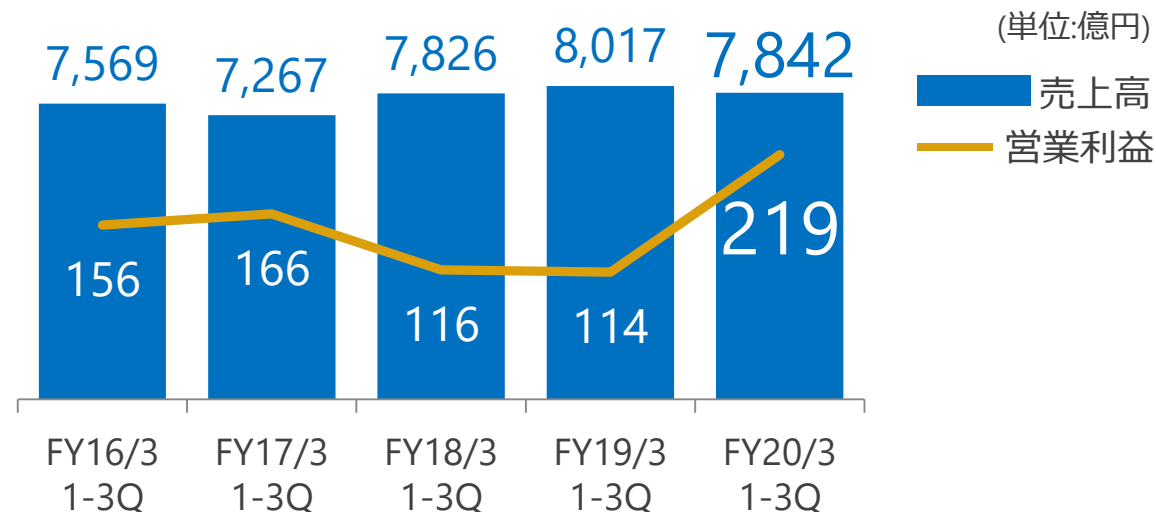
木とともに未来を拓く

## 連結損益概要

(単位：億円)

	2019年3月期 1Q-3Q累計	2020年3月期 1Q-3Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	8,017	7,842	▲175	▲2.2%
営業利益	114	219	105	92.7%
経常利益	145	204	59	41.0%
当期純利益*	▲389	104	493	—

\* 親会社株主に帰属する当期純利益



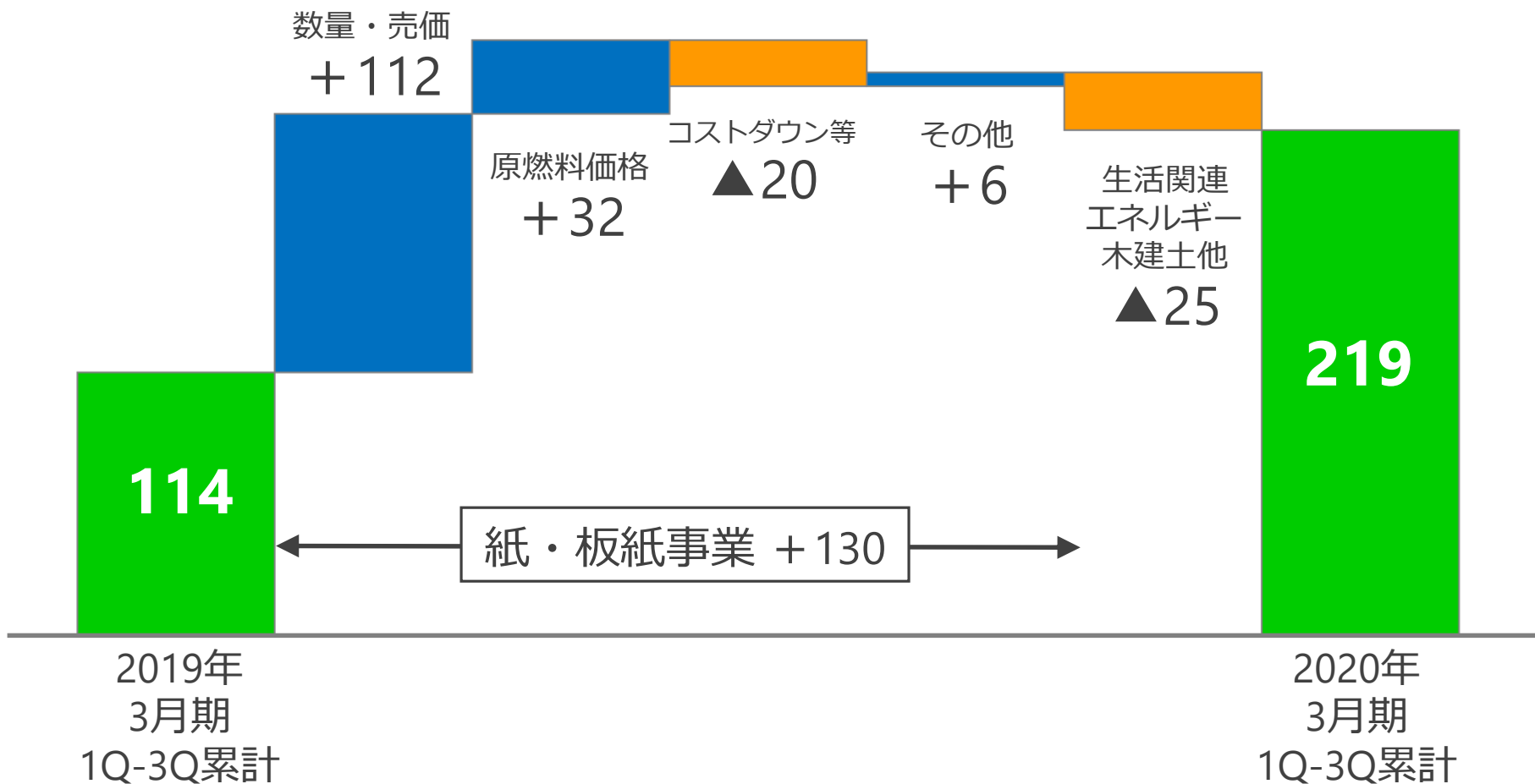
## セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 1Q-3Q累計	2020年3月期 1Q-3Q累計	前年 同期比	2019年3月期 1Q-3Q累計	2020年3月期 1Q-3Q累計	前年 同期比
紙・板紙	5,556	5,363	▲193	▲95	35	130
生活関連	1,528	1,568	40	93	80	▲13
エネルギー	268	236	▲32	59	44	▲15
木材・建材・ 土木建設関連	431	445	14	36	39	3
その他	234	230	▲4	21	21	0
合計	8,017	7,842	▲175	114	219	105

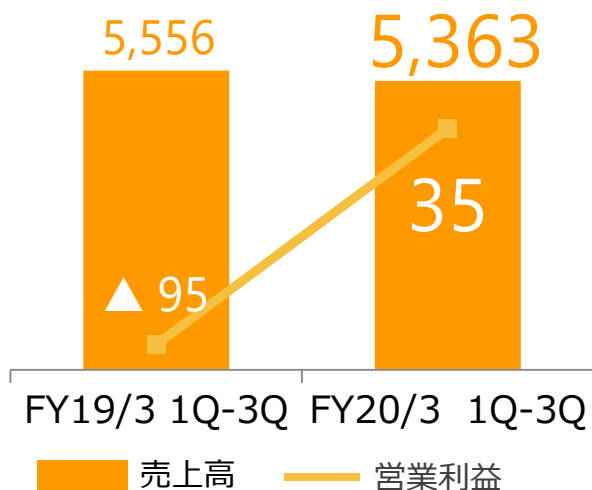
# 営業利益増減要因

(単位：億円)



## 紙・板紙事業

売上高・営業利益 (億円)



営業利益増減要因 (億円)



### ○国内事業 (洋紙)

印刷・情報用紙および新聞用紙の価格修正効果が発現したものの、新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などで国内販売数量は低調に推移した。

### ○国内事業 (板紙)

国内製品は、天候不順などにより、販売数量が前年同期を下回った。輸出製品は、中国を中心としたアジア地域での需要が弱く、販売数量が前年同期比で減少した。

### ○海外事業

十條サーマルの販売数量が低調に推移したものの、オーストラリアンペーパーの休転時期を第4四半期に変更したことなどにより、前年同期比で減収増益となった。

## 洋紙・板紙販売数量

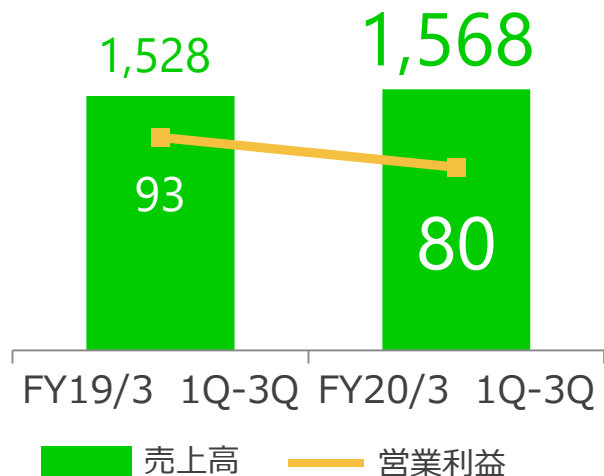
(単位：千t)

	2019年3月期 1Q-3Q累計	2020年3月期 1Q-3Q累計	前年同期比
新聞用紙	682	624	▲8.5%
印刷用紙	1,183	1,105	▲6.6%
情報用紙	368	372	1.2%
その他	283	272	▲4.1%
国内	2,516	2,373	▲5.7%
輸出	313	235	▲25.1%
洋紙合計	2,829	2,608	▲7.8%
段ボール原紙	1,292	1,238	▲4.2%
紙器用板紙他	277	261	▲5.8%
国内	1,569	1,499	▲4.5%
輸出	156	128	▲17.8%
板紙合計	1,724	1,627	▲5.7%
洋紙・板紙合計	4,554	4,235	▲7.0%

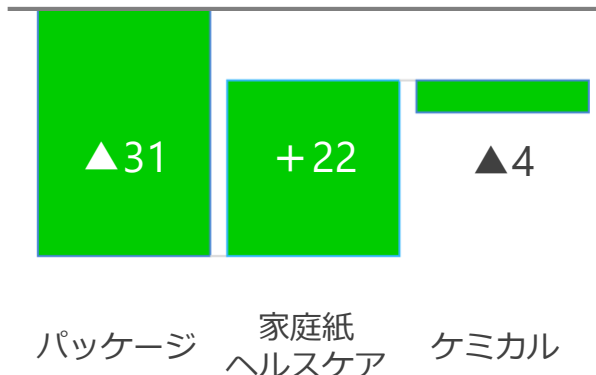
\* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

## 生活関連事業

売上高・営業利益 (億円)



営業利益増減要因 (億円)



### ○パッケージ

国内の液体用紙容器は、天候不順の影響により飲料市場が低迷したことから、販売数量が前年同期を下回った。

日本ダイナウェーブパッケージングは、販売数量が前年同期を下回ったことや、大型休転の影響により、減益となった。

### ○家庭紙・ヘルスケア

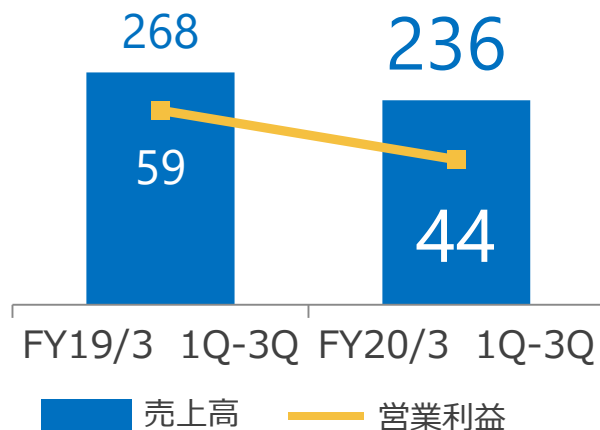
ティッシュペーパーやトイレットペーパーなどの需要は堅調で、販売数量は前年同期を上回った。価格修正は効果が発現し、前年同期に対して増収増益となった。

### ○ケミカル

機能性フィルムは、中小型ディスプレイ向けの用途が堅調で、販売数量は前年同期を上回ったものの、溶解パルプは中国などの海外需要が低迷し、前年同期に対して減益となった。

## エネルギー事業

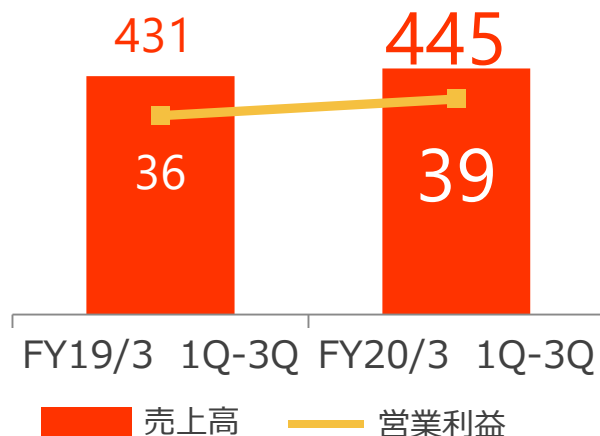
売上高・営業利益（億円）



発電設備の運転日数が減少したことや固定費の負担増などの影響により、前年同期比で減収減益となった。

## 木材・建材・土木建設関連事業

売上高・営業利益（億円）



新設住宅着工戸数が弱含みで推移し、日本製紙木材の製材品の販売数量は前年同期を下回ったが、土木建設関連事業の受注工事が増加したことや、AMCELの販売が堅調に推移したことにより、増収増益となった。



## 連結損益概要

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,687	10,700	13	0.1%
営業利益	196	300	104	52.9%
経常利益	239	280	41	17.1%
当期純利益*	▲352	130	482	—

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

## 差し替え型容器「SPOPS®」を製品化



「SPOPS®」は、山陽物産株式会社ホテル向け製品シリーズ「HAJIMARI EASY+」の容器として、また、日本製紙総合開発の製品「ダケカンバボディソープ」の容器として採用されました。

### 「SPOPS®」の主な特長

- ・詰め替え作業の軽減化
- ・使い捨てプラスチック量の削減
- ・詰め替え作業における衛生面の配慮



HAJIMARI EASY+



ダケカンバボディソープ

# 参考資料

---

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

## 紙・板紙の出荷量と輸出入

### <2020年3月期 1Q-3Q累計 国内メーカー実績>

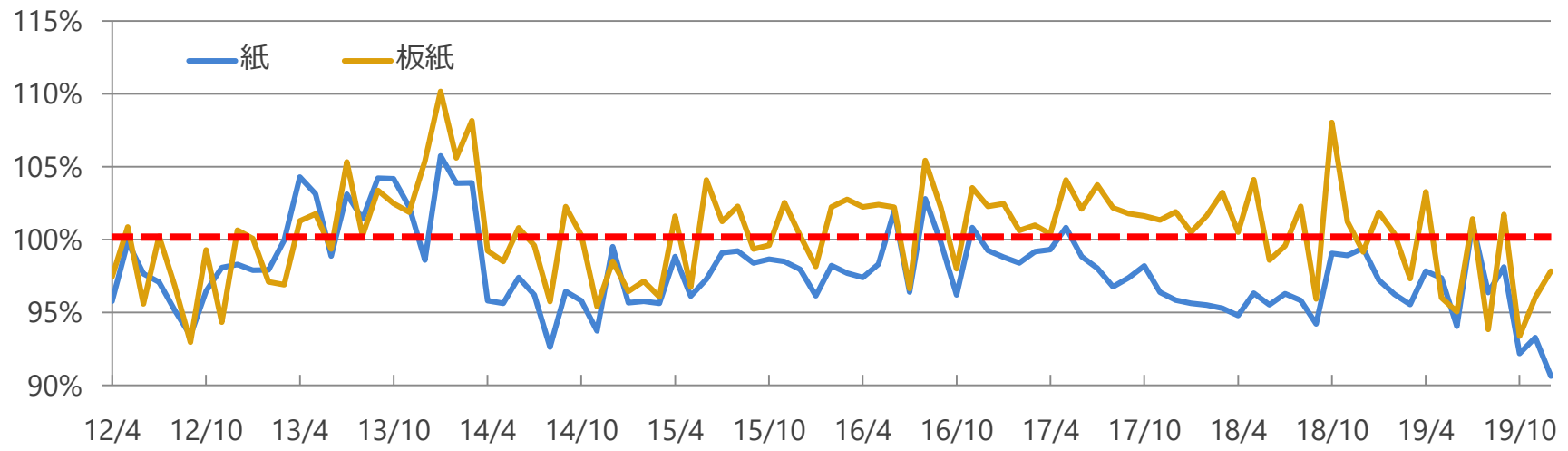
(数量：千t)

	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入	
	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比
新聞用紙	1,789	▲7.1%	0	—	1,789	▲7.1%	1	▲37.1%
印刷・情報用紙	5,083	▲4.9%	384	▲37.4%	5,466	▲8.3%	798	60.3%
塗工印刷用紙※	2,774	▲7.1%	286	▲34.4%	3,060	▲10.6%	402	207.3%
非塗工印刷用紙	1,321	▲2.6%	75	▲50.0%	1,396	▲7.3%	48	39.5%
情報用紙	989	▲1.6%	22	▲14.9%	1,010	▲1.9%	348	4.6%
その他	2,393	▲1.2%	227	▲3.8%	2,620	▲1.4%	39	15.7%
洋紙 合計	9,265	▲4.4%	611	▲28.1%	9,876	▲6.3%	838	57.1%
段ボール原紙	6,926	▲2.1%	355	▲12.4%	7,280	▲2.7%	32	▲14.7%
紙器用板紙他	1,639	▲3.8%	19	▲8.5%	1,657	▲3.8%	204	0.1%
板紙 合計	8,564	▲2.4%	374	▲12.3%	8,938	▲2.9%	236	▲2.2%
紙・板紙合計	17,830	▲3.5%	984	▲22.8%	18,814	▲4.7%	1,074	38.6%

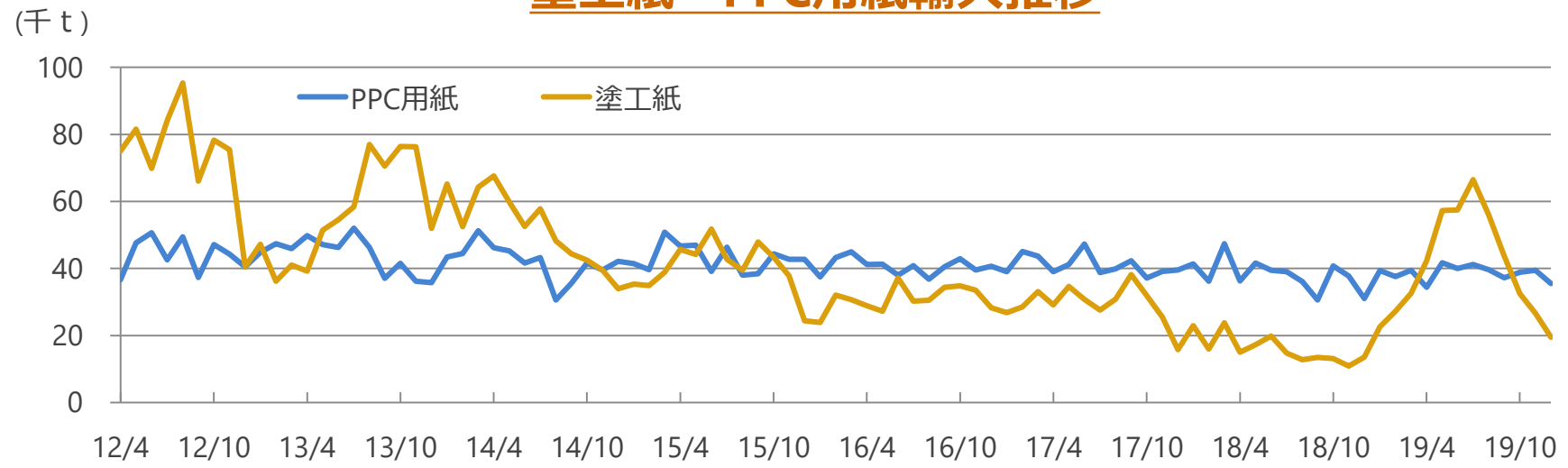
※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

# メーカ一国内出荷量（対前年）、塗工紙・PPC用紙輸入推移

## メーカ一国内出荷量(対前年)



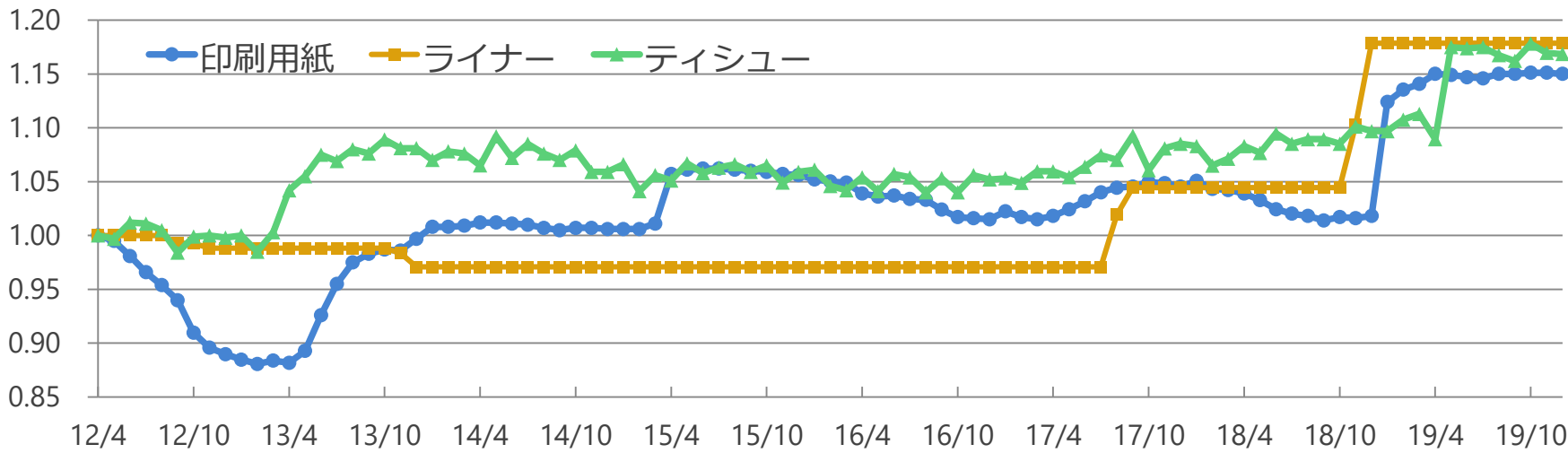
## 塗工紙・PPC用紙輸入推移



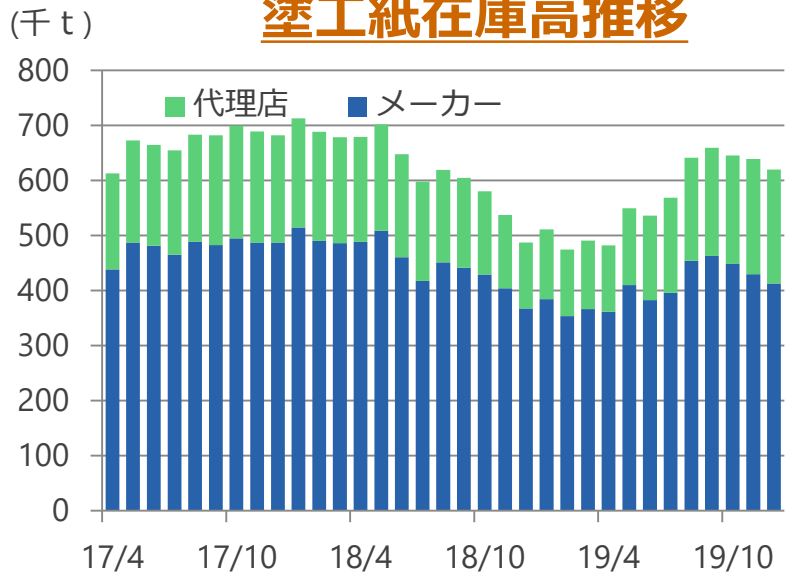
# 品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移

## 品種別価格動向

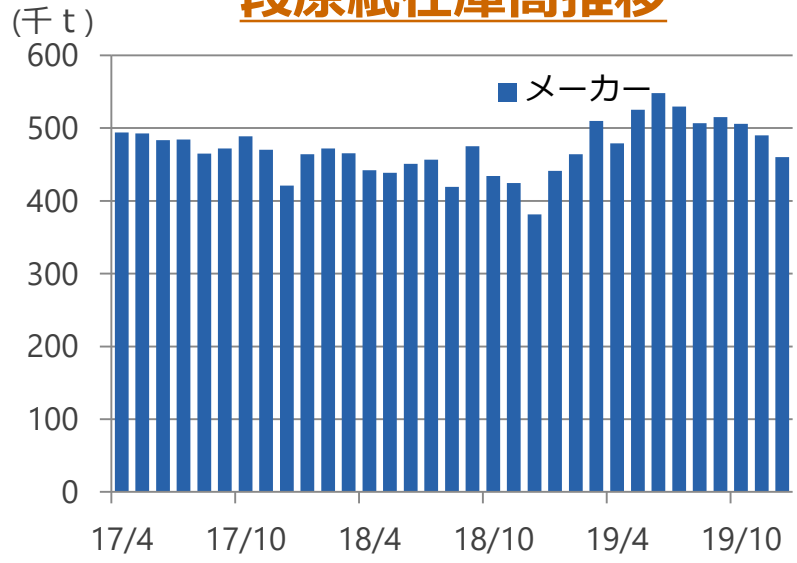
(2012年4月 = 1)



## 塗工紙在庫高推移



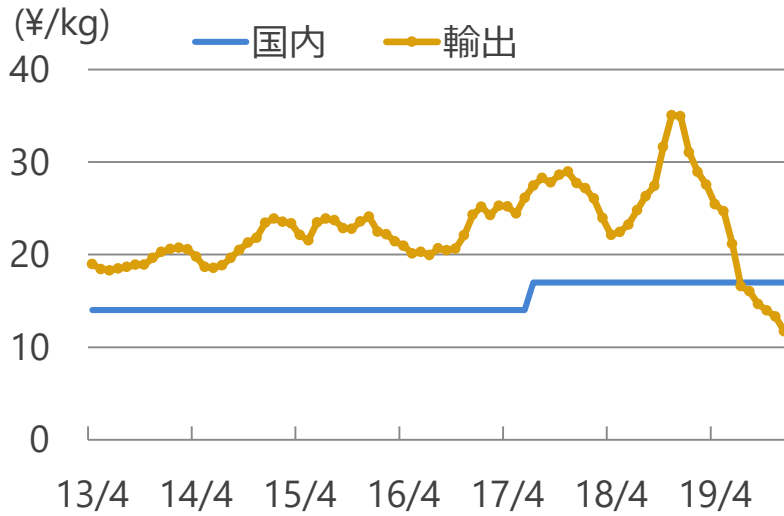
## 段原紙在庫高推移



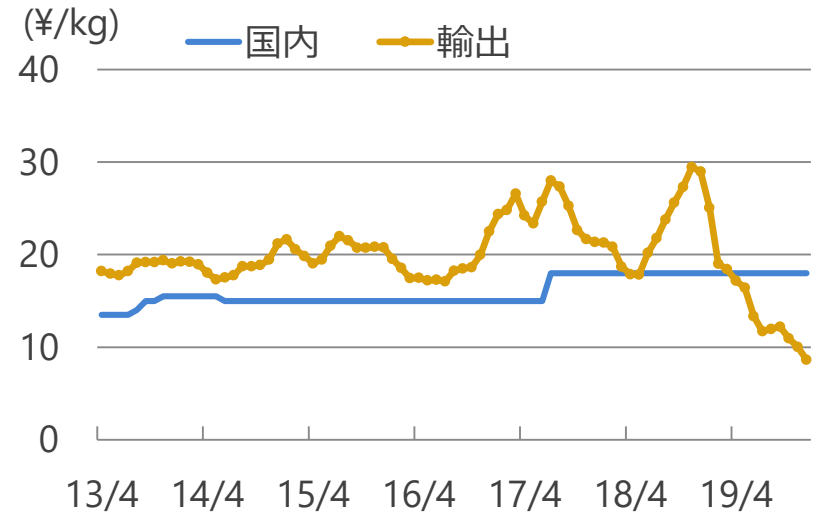
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

# 主要原燃料価格動向

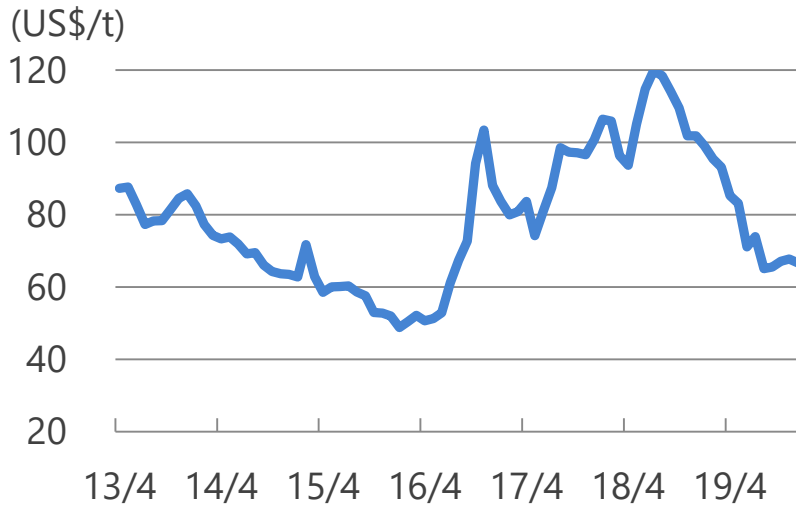
## 新聞古紙



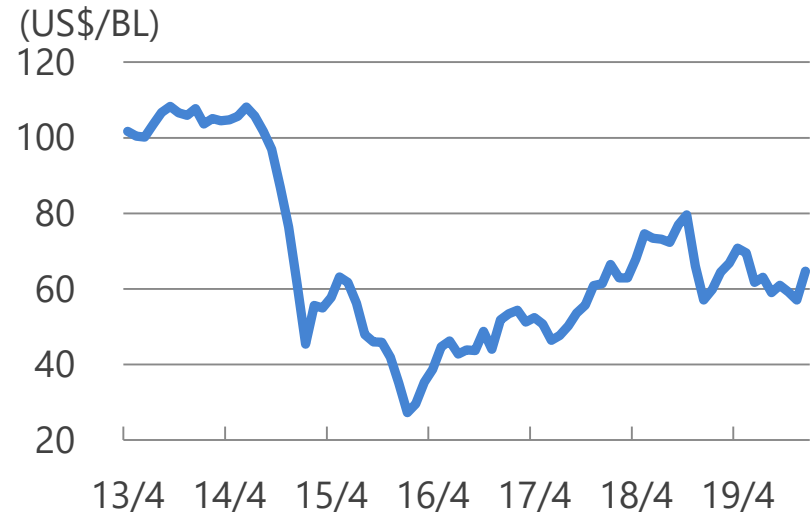
## 段ボール古紙



## 石炭



## 原油



出所：古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞、Global Coal Index

# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## <注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 日本製紙株式会社